

近年の日本農業の進歩に最も大きな貢献をはたしているものの1つとして、除草剤の開発が挙げられる。特に近代工業の発展につれて、従来の農業従事労力は急激に都市、工業地帯への移動となり、農村では深刻な労力不足となって、いわゆる省力農業、労働生産性の向上が至上の問題と考えられる。一方、農耕作業の中では雑草防除が大きな比重を占めており、除草作業の省力化は生産性向上の面で不可欠のものであろう。現在、各種系列の除草剤が開発され、実用に供されているが、その個々の性質を熟知し、それぞれの特性に応じた使い方をすることは、薬害を防止し且つ最高の効果を挙げる上でもっとも重要なことである。

殆んど大部分の除草剤が諸外国で開発され、戦後わが国にも急速に紹介され、先輩諸賢の非常な努力と、研究により、わが国の農業に順応した使用場面が開発され、農家の人々を、いわゆる草とりの重労働から開放しようとしているが、さらに諸外国の現在の研究開発の状況を知り、より一層この分野の発展につとめてゆかなければならない。

英国における除草剤関係文献の紹介

I. C. I. 上 敷 領 末 男

手もとの発刊物の中から、2～3英国で発行されているものを紹介して大方の便に供したい。

1) Weed Research (European Weed Research Council 発行)

Weed Research は、ヨーロッパ雑草研究会がその発表機関誌として、世界各地の除草剤に関する科学技術、除草方法等についての発表を集録し、年4回、3月、6月、9月、12月に発刊されている。

発行所: Blackwell Scientific Publications, Oxford

2) Weed Abstracts

上記Weed Research が除草剤および除草法等について詳細に報告されているのに対して、本報は2カ月ごとに世界各地の研究報告をできるだけ多く要約集録し、雑草に関する科学および雑草防除の方法など新しい進歩におくれないよう研究の手段に供するものである。Weed Research Organization of the Agriculture Research Council によって編集され、Commonwealth Agricultural Bureau (Farnham Royal, Bucks, England)によって発

刊されている。

3) PANS (Pest Articles and News Summaries) Section C. Weed Control

英国海外開発省で編集発刊されているもので、特に熱帯地域を対照とし、Section Cでは、それら地域の雑草防除の研究を集録し、また新しい薬剤、文献等を紹介し、その地域の農業開発の一助としている。

発行所: The ministry of Overseas Development London

4) Weed Control Handbook

上記Blackwell Scientific Publication Oxford で発刊されている単行本で、現在第5版が発刊されている。除草剤の分類、性質および剤型、毒性などについて詳述されており、かつ各作物ごとに使用されるべき薬剤、処理量、処理方法などについていねいに記載してある。一方、いろいろな雑草別に除草剤、処理法および各雑草の反応などについて述べてあり、雑草防除研究面で、一般的な知識を得るとともに、ごく新しい研究にも利用価値の大きいものと考えられる。